

2025年3月期 決算説明

2025年5月23日

たてものを、いきものに

LIVZON 大成温調株式会社

(証券コード：1904)

目次

■ 2025年3月期 決算概要

連結業績

セグメント別業績

個別業績

業績予想

■ 中期経営計画の進捗

基本方針と具体的施策

キャピタルアロケーション/株主還元

重要な経営課題

■ Appendix

The background of the slide features abstract geometric shapes in various shades of blue, creating a modern and professional look.

2025年3月期 決算概要

連結業績サマリー

- 国内の建設需要の活性化に伴う受注の増加に加え、全社的な利益率・生産性向上の取り組みが奏功し、3期連続の増収・増益。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	46,459	61,056	62,502	1,445	2.4%
完成工事高	45,231	58,471	60,337	1,865	3.2%
売上総利益	6,533	8,285	9,094	809	9.8%
完成工事総利益 (完成工事総利益率)	6,282 (13.9%)	7,961 (13.6%)	8,876 (14.7%)	915	11.5%
営業利益	1,732	3,014	3,115	100	3.3%
経常利益	1,998	3,085	3,483	398	12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,469	1,962	2,487	524	26.7%

財政状態およびキャッシュ・フロー

■ 財政状態（連結）の概要

（単位：百万円）

	2024年3月期 期末	2025年3月期 期末	前年同期比	
			増減額	増減率
総資産	45,770	46,411	640	1.4%
純資産	25,714	27,628	1,914	7.4%
自己資本比率	56.2%	59.5%	3.3pt	—

■ キャッシュ・フロー（連結）の推移

（単位：百万円）



事業セグメントについて

- 当社グループは、主に空気調和、給排水衛生、電気設備などの設備工事事業を中心に展開。国内外で多様なプロジェクトに参画し、社会インフラの構築を支えている。

セグメント	社名	事業内容
日本	大成温調株式会社	設備工事事業
	ウッドテック株式会社	設備工事事業（消火設備に強み）
	温調エコシステムズ株式会社	設備工事事業/冷暖房機器等の販売
米国	ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION	設備工事事業
中国	大成温調建築工程（上海）有限公司	建築事業/設備工事事業
オーストラリア	TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY.LIMITED	不動産事業
	NT AUSTRALIA PTY. LIMITED	不動産事業
以下は連結に含まれない		
ベトナム	TAISEI ONCHO VIETNAM HOLDINGS COMPANY LIMITED	投資事業
ベトナム	TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED	設計積算・施工図作成事業
ベトナム	SEAREFICO CORPORATION	設備工事事業

セグメント別売上高

- 日本セグメントは堅調な市場環境により増収。
- 米国セグメントは案件の端境期で減収、中国セグメントは市場環境悪化が続く中でも、大型物件の竣工により減収幅が縮小。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高（連結）	46,459	61,056	62,502	1,445	2.4%
日本	34,007	45,262	47,386	2,123	4.7%
米国	10,471	12,933	12,341	△591	△4.6%
中国	1,918	2,779	2,741	△37	△1.4%
オーストラリア	61	80	32	△47	△59.6%

セグメント別利益

- 日本セグメントでは受注利益率の向上とウッドテック株式会社の好調により増益。
- 米国セグメントでは前年同期からの反動により減益。
- 中国セグメントでは市場環境悪化するも、経費削減により小幅増益。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
営業利益（連結）	1,732	3,014	3,115	100	3.3%
日本	1,128	2,161	2,485	324	15.0%
米国	415	677	529	△148	△21.9%
中国	176	126	129	2	2.3%
オーストラリア	36	51	6	△45	△88.1%

個別完成工事高

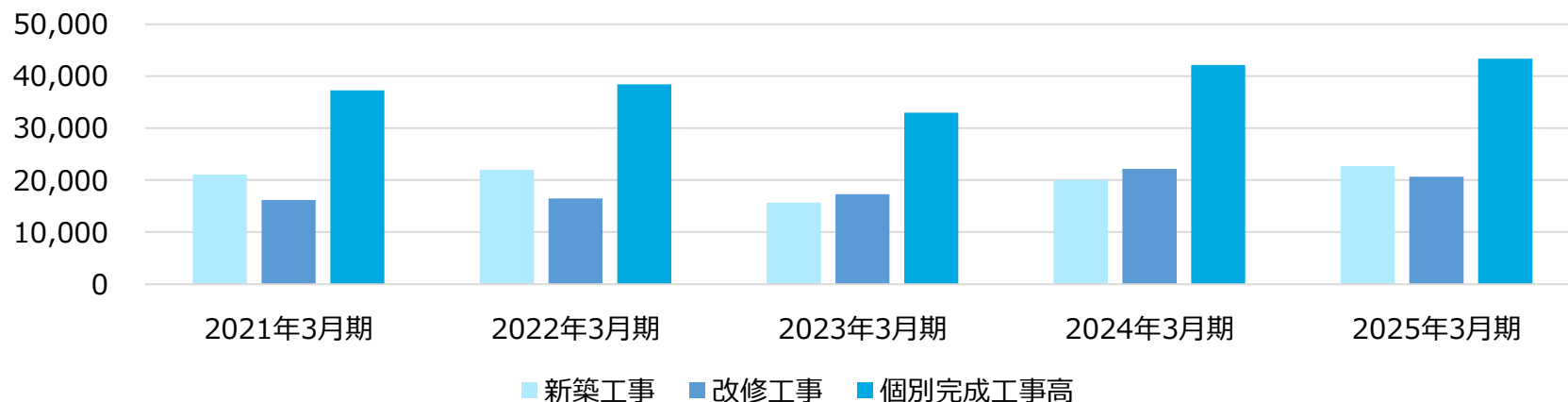
- 大都市圏における再開発案件等の進捗により大きく伸長。
- 内訳として、大型の新築プロジェクトが竣工したことにより、新築割合が拡大。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
個別完成工事高	32,935	42,156	43,341	1,185	2.8%
新築工事	15,638	20,018	22,707	2,688	13.4%
改修・保守修理等	17,297	22,137	20,634	△1,503	△6.8%

(単位：百万円)

個別完成工事高



個別受注工事高

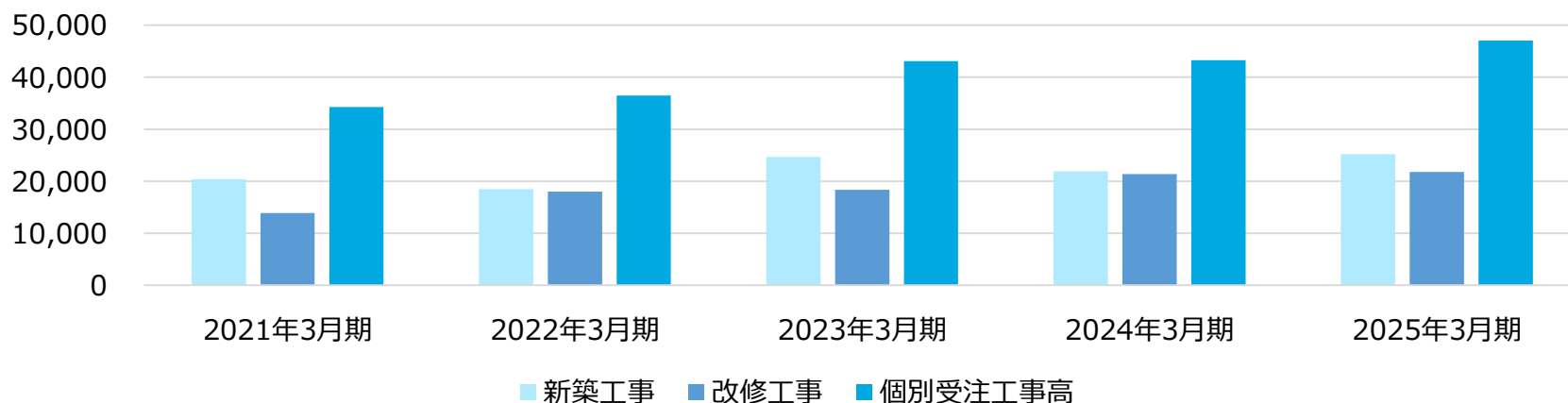
- 商業施設、医療施設などの大型物件の受注により、好調に推移。
- 新築工事が大きく寄与。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
個別受注工事高	43,082	43,272	47,037	3,764	8.7%
新築工事	24,707	21,884	25,239	3,354	15.3%
改修・保守修理等	18,374	21,388	21,797	409	1.9%

(単位：百万円)

個別受注工事高



個別次期繰越工事高

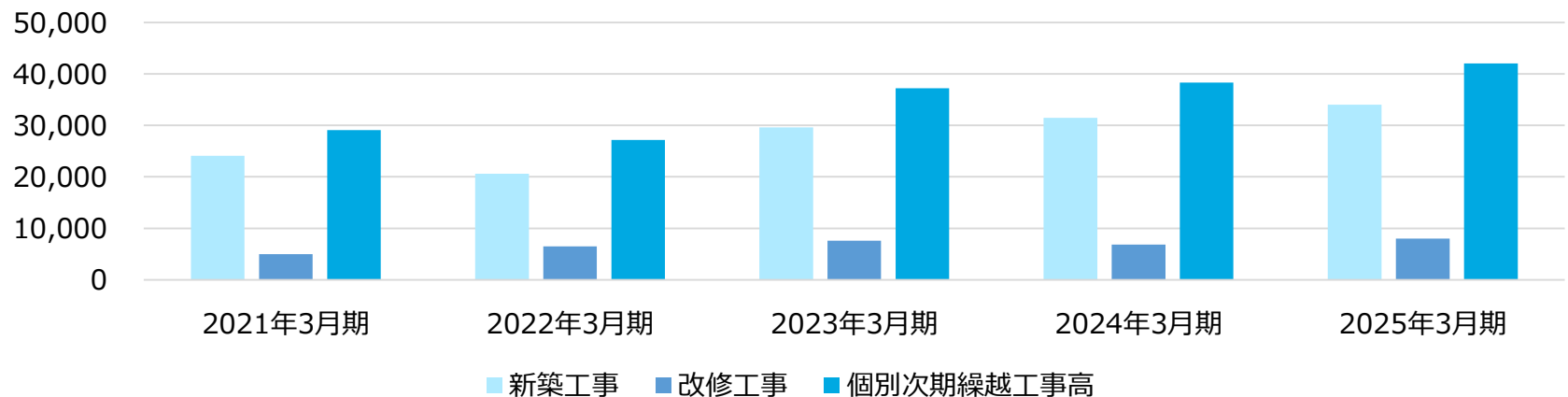
■ 大型の新築工事の進捗遅延の影響もあり、次期繰越工事高は引き続き増加傾向。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
個別次期繰越工事高	37,214	38,331	42,026	3,695	9.6%
新築工事	29,612	31,478	34,011	2,532	8.0%
改修・保守修理等	7,602	6,852	8,015	1,162	17.0%

(単位：百万円)

個別次期繰越工事高



2026年3月期 連結業績予想

- 連結売上高の約2割を占める米国セグメントの落ち込みにより、連結で減収見込み。
- 将来の成長に向けた、人的投資を含む約10億円の追加投資の影響により、連結で減益を見込む。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 (予測値)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高（連結）	62,502	60,200	△2,302	△3.7%
営業利益（連結）	3,115	2,700	△415	△13.3%
経常利益（連結）	3,483	2,800	△683	△19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益（連結）	2,487	1,800	△687	△27.6%

中期経営計画の進捗

「LIVZON DREAM 2030 1st half!」

中期経営計画 LIVZON DREAM 2030 1st half!の位置づけ

- 目指す姿である『総合たてものサービス企業』の実現に向け、中期経営計画の取り組みとともに、新たにサステナビリティの取り組みを統合し、推進中。

長期経営ビジョン LIVZON DREAM 2030 (2021~2030)

1st half! (2021~2025)

【目的】

- コア事業の収益性改善
- 成長のための土台づくり

2nd half!
(2026~2030)



サステナビリティ

- ESGを含む重要な経営課題の解決

目指す姿

『総合たてものサービス企業』へ

LIVZON DREAM 2030 1st half!における経営指標（KPI）

- 利益率・生産性向上PJの施策が奏功し、今期は全ての目標を達成。
- さらなる成長に向けて積極的な投資を実施予定。

■ 重要な経営指標

KPI	2022年 3月期実績	2023年 3月期実績	2024年 3月期実績	2025年 3月期実績	2026年3月期 中期経営計画目標
営業利益率	2.6%	3.7%	4.9%	5.0%	5.0%以上
ROE 自己資本当期純利益率	4.0% (PBR 0.49倍)	5.9% (PBR 0.45倍)	7.7% (PBR 1.02倍)	9.3% (PBR 0.81倍)	8.0%以上
EPS 1株当たり当期純利益	151.99円	246.01円	335.66円	408.47円	250円以上
DOE 連結純資産配当率	2.0%	2.0%	3.0%	3.0%	2.5%以上

LIVZON DREAM 2030 1st half!の取り組み

- LIVZON DREAM 2030 1st half!の3つの基本方針「①基盤事業の深耕」、「②成長への投資」、「③経営基盤の整備」に沿って注力。

基本方針

重点施策

①基盤事業の深耕

- ・高付加価値セグメントへの資源配分
- ・競争力の強化
- ・生産性の向上

②成長への投資

- ・デジタルイゼーション・DXへの投資
- ・事業ポートフォリオ拡充への投資
- ・新規成長分野への投資

③経営基盤の整備

- ・人財の確保・育成
- ・ガバナンスの強化
- ・資本効率の向上

施策の進捗状況

① 基盤事業の深耕

- 採算重視の資源配分や、業務プロセス・生産プロセスの見直しなどにより、本業部分の利益率・生産性が向上。
- アウトソーシングや工法の工夫などにより、業績向上のみならず、働き方改革にも寄与。

サイレントシステムを用いた施工の実施

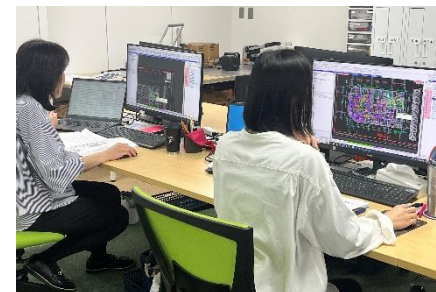
- ・ サイレントシステムを用いることで土日・夜間作業から昼間作業へと変換が可能になり、**費用削減や生産性向上**に繋がっている



※画像はイメージです。

工務統括部の設置

- ・ 現場における作業負担軽減による**労働環境の改善**と外部リソースの活用による**生産性向上**を目的とする組織の設置



工務統括部による施工図作成支援の様子

ベトナムにおけるオフショアエンジニアリング部門の強化

- ・ ベトナムの優秀なエンジニアと連携し、日本国内の一部設計・積算業務をオフショアでアウトソーシングする取り組みを進める

施策の進捗状況

②成長への投資

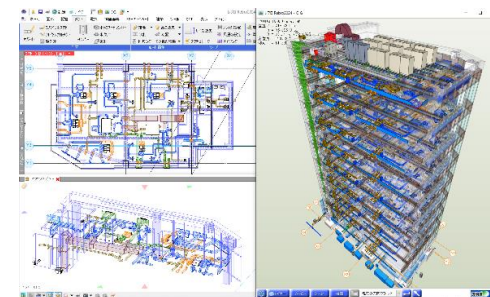
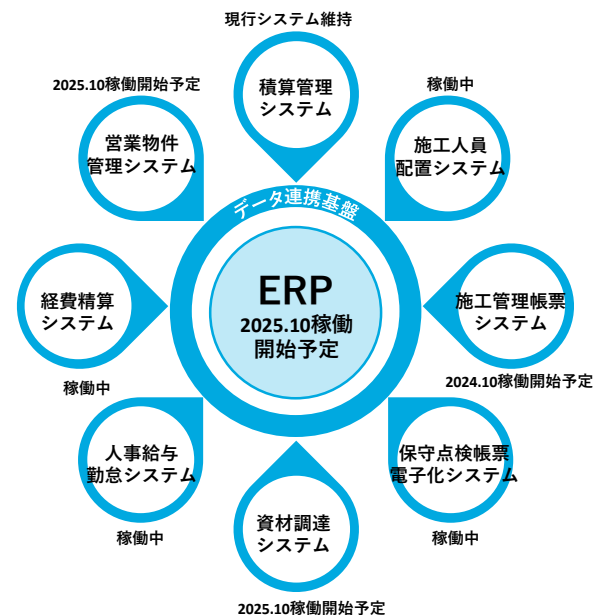
- 基盤事業の深耕により生み出されたキャッシュフローを成長投資へ充当。業務プロセスのデジタルイゼーションを中心としたDX投資に加え、国内外事業拡大に向けた投資を実行。

LIVZON サイバープラットフォームの構築

- ・ 新たなERPと各種業務アプリを連携させ、データの一元管理と迅速な意思決定を可能とする、**大成温調の新たなデータ連携システム**
- ・ 2025年10月の稼働に向けて準備を進めている

BIMを中心とした生産プロセス改革

- ・ 建築物の設計から施工、運用といった各段階でのデジタルデータを統合
- ・ 3Dモデルに基づく情報共有が可能になり、設計ミスの早期発見や、施工の精度、**業務効率が大幅に向上**



実際に現場で使用されている3Dモデル（イメージ）

施策の進捗状況

③経営基盤の整備

- 今後の成長を支える環境とリソース確保のため、多様な人財の活躍を目指した働き方改革を積極的に実行するとともに、ESGの取り組みを加速し企業価値の持続的成長を図る。

■ 人財の確保・育成

- ・ 「健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）」に認定
- ・ 社員と家族を応援する「LIVZON エールプロジェクト」を開始



■ 株主還元強化

- ・ 株式の流動性向上を目指した戦略的な株主還元を実施
- ・ DOE水準の引き上げや自社株買いを通じて、株主への利益分配を拡大

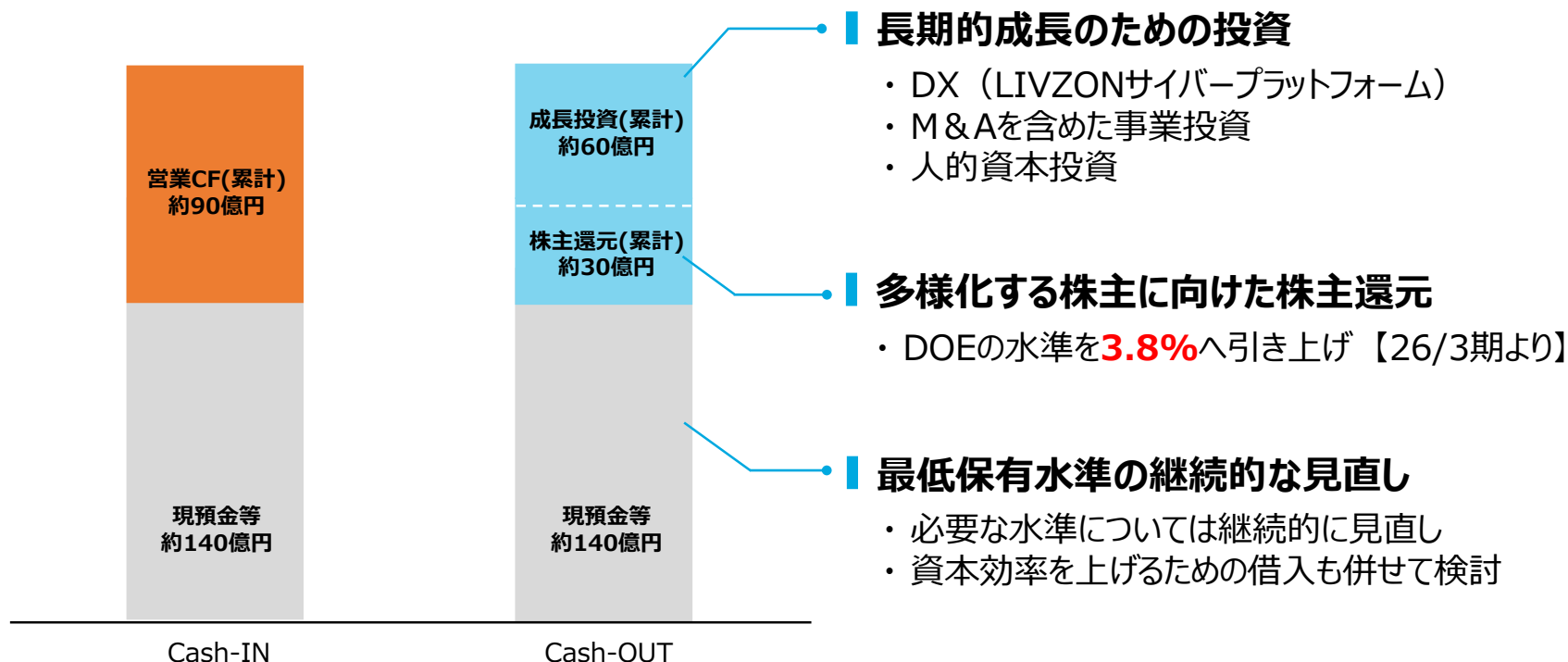


株主優待のクオカード（イメージ）

キャピタルアロケーションの考え方

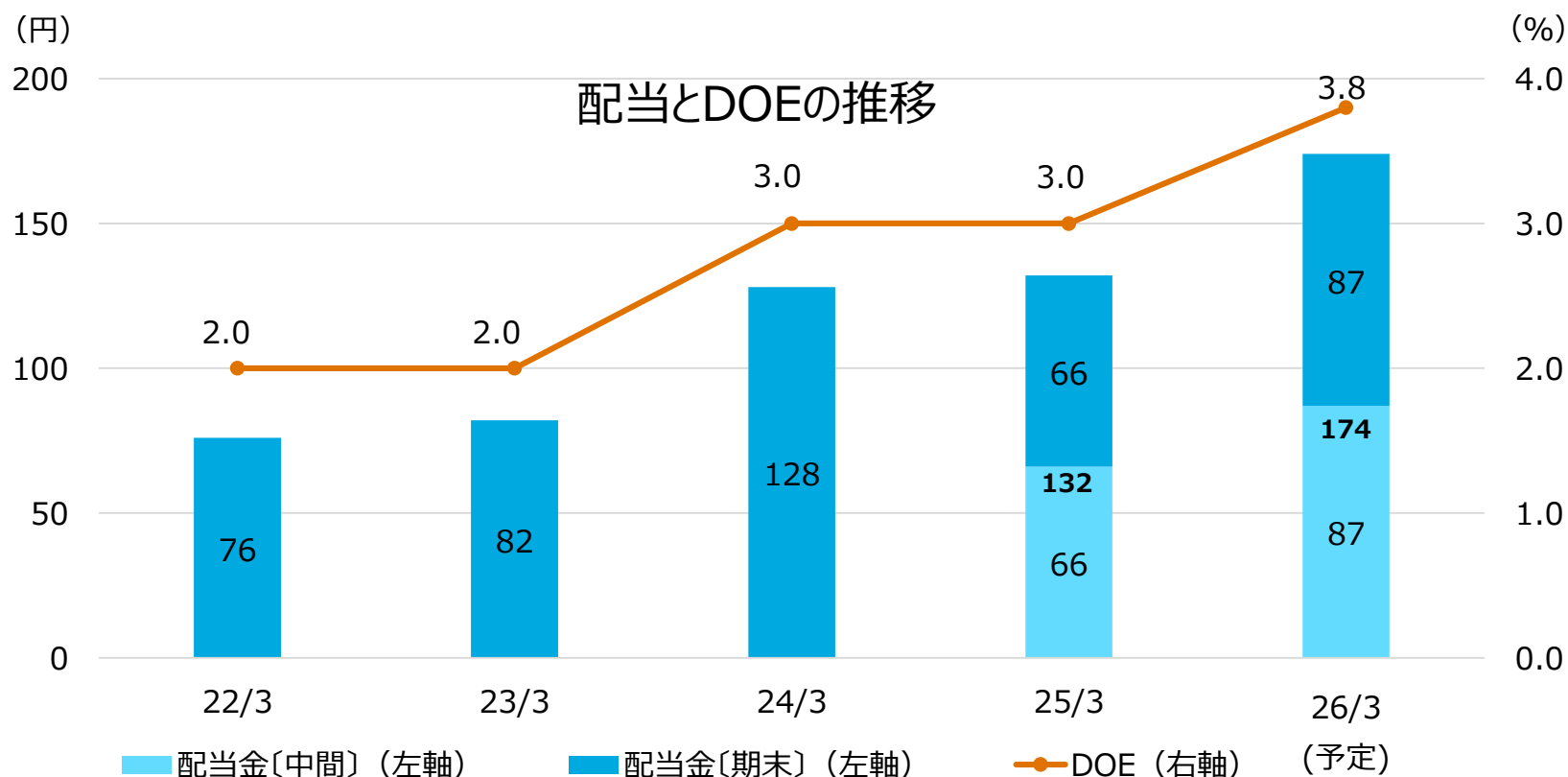
- 財務基盤の健全性を維持しつつ、創出したキャッシュフローを成長投資と株主還元に分け、資本効率の向上を図るという方針は変更なし。

計画期間（2024年度～2028年度）の 概算キャピタルアロケーション（連結）



株主還元の見直し①

- 株主層の多様化を図るべく資本政策を検討した結果、株主優待制度の見直しおよび連結純資産
配当率（DOE）を3.0%から3.8%目処へ引き上げを実施。
- 総利回りの維持および株主層の拡大を目的としたもの。



株主還元の見直し②

- 株主還元の見直しとともに、優待についても見直しを実施。
- 総利回りを維持しつつ配当による還元比率を高め、成長投資とバランスを図りながら中長期的な株主価値の最大化に取り組む方針。

■ 優待の見直し

	変更前	変更後 (2026年3月期以降)
配布時期	中間、期末	中間、期末
300～499株	クオカード 16,000円 (8,000円×年2回)	クオカード 8,000円 (4,000円×年2回)
500～899株	クオカード 30,000円 (15,000円×年2回)	クオカード 15,000円 (7,500円×年2回)
900株以上	クオカード 60,000円 (30,000円×年2回)	クオカード 30,000円 (15,000円×年2回)

■ DOE3.0%の場合（2025年3月期以前）

保有株式数	300株	500株	900株
1株当たりの配当	132円	132円	132円
1株当たりの優待	53円	60円	67円
総利回り※	5.0%	5.2%	5.3%

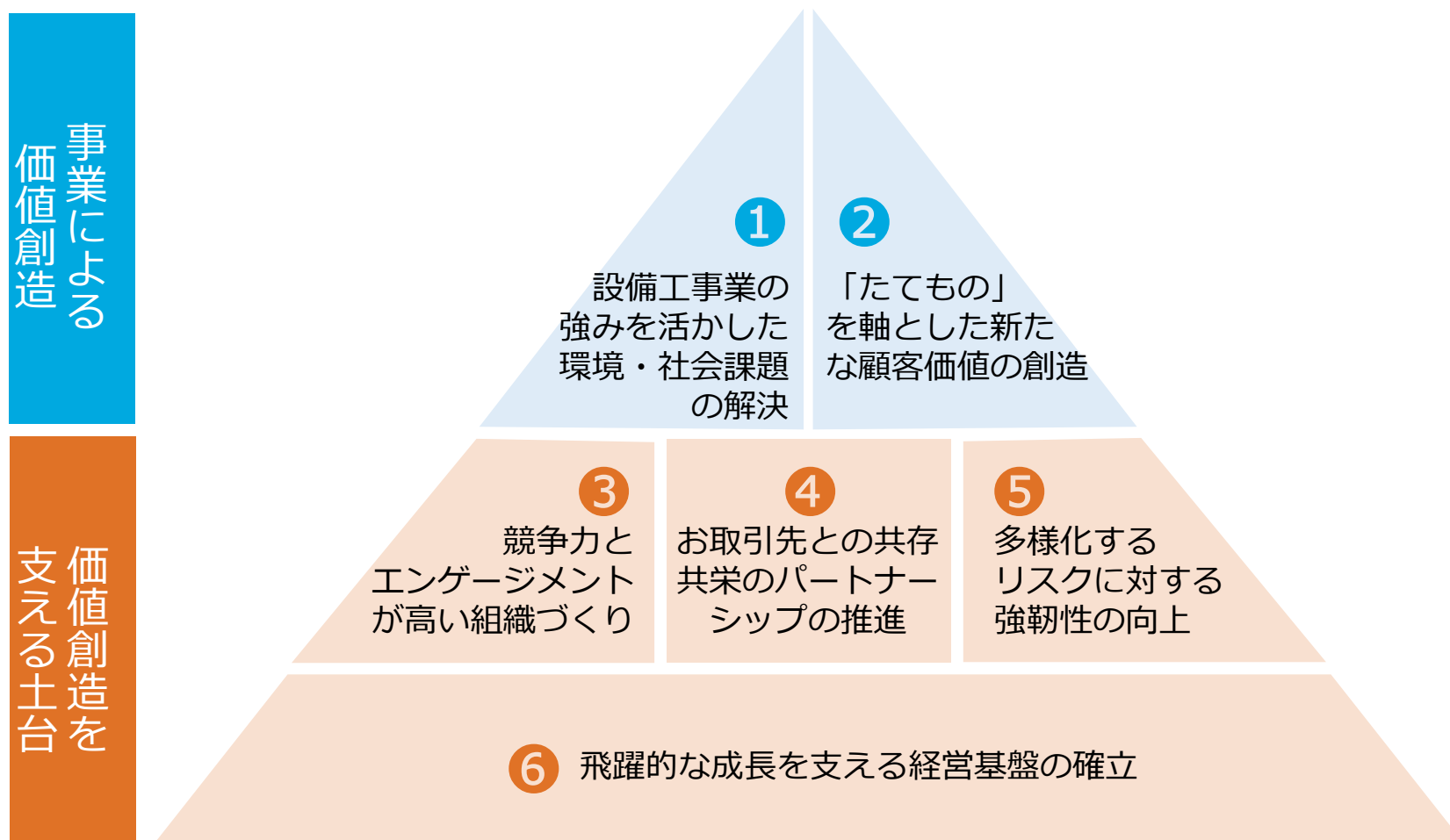
■ DOE3.8%の場合（2026年3月期以降）

保有株式数	300株	500株	900株
1株当たりの配当	174円	174円	174円
1株当たりの優待	27円	30円	33円
総利回り※	5.4%	5.5%	5.6%

※株価3,715円を想定して算出。全体平均としてはより高い総利回りアップ率となります。

重要な経営課題

- 重要な経営課題のうち、「事業による価値創造（①、②）」を「価値創造を支える土台（③～⑥）」が支え、特に⑥（ガバナンス）は全ての基盤として位置付けました。



重要な経営課題

- 次期中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 2nd half!」にて取り組む重要な経営課題を、以下のとおりいたしました。

	重要な経営課題一覧	目指す姿
事業による 価値創造	1 設備工事業の強みを活かした 環境・社会課題の解決	全ての人が健やかに生きられる社会を守り、自社の事業環境を持続的に保全するため、空調衛生設備技術や豊富な施工経験を活かし、 気候変動、資源の枯渇、高齢化、地方過疎化等の環境・社会課題の解決 に取り組みます。
	2 「たてもの」を軸とした 新たな顧客価値の創造	基盤事業の専門性と、AI/IoT技術の活用、新工法・施工技術の開発、業務提携・M&A等を組み合わせ、また、当社の強みである丁寧なヒアリングと顧客ニーズの体現力、海外拠点の資本を活かし、大成温調ならではの「たてもの」を起点とした新たな価値を創造します。
価値創造を 支える土台	3 競争力とエンゲージメントが 高い組織づくり	従業員の能力開発とリーダー育成への投資、および 技術の伝承や生産性向上のための仕組みづくり を急務とし、また、多様な人材が長く活躍できるよう、人権尊重、柔軟な働き方、成長機会の拡充、風土改善等を通じ、組織の競争力とエンゲージメントを高めます。
	4 お取引先との共存共栄の パートナーシップの推進	パートナー企業や調達先の皆さまとの 公正な取引を徹底し 、現場の安全衛生の向上に努めます。また、 継続的な対話や協働を通じて信頼関係強化や知見共有 を行い、将来にわたって共存共栄のパートナーシップを実現します。
	5 多様化するリスクに対する 強靱性の向上	現場の労働安全衛生や長時間労働、災害時のBCP、資材高騰という建設業特有のリスクだけでなく、気候変動、自然災害、人権、サイバーセキュリティ等、 事業環境の変化とともに浮上するリスクを管理し 、対応する能力を高めます。
	6 飛躍的な成長を支える 経営基盤の確立	事業環境の変化やステークホルダーからの要請に対応し、さらに「総合たてものサービス企業」への進化を下支えするため、 資本効率の向上や、内部統制の強化、財務・非財務の情報開示等 を通じて、透明性と倫理性の高い経営基盤を築きます。

直近の取り組み①

「健康経営優良法人」認定

- ・ 2025年3月大成温調グループで初「健康経営優良法人」に認定
- ・ 従業員およびその家族の心身の健康保持・増進にむけた取り組みを継続し、健康で快適な職場環境整備を推進



エンゲージメントサーベイを実施

- ・ 会社全体の一体感を高めるため、現状の課題や実態把握を目的とした「エンゲージメントサーベイ」を実施
- ・ 今後も定期的に実施し、組織改善に活用

社員と家族を応援する「LIVZON エールプロジェクト」を開始

- ・ これまでの取り組みをさらに充実させるために新たなプロジェクトとして開始
- ・ 出産祝金の支給額を**最大100万円**とする制度に見直し

品川区のひとり親家庭等の子どもたちへお米を寄贈

- ・ 4年連続の寄贈
- ・ 寄贈したお米は494世帯分（子ども一人につき5キログラム）
- ・ 品川区に本社を置く当社を含む6社で合同実施



森澤区長（中央）、当社代表 水谷（右端）

直近の取り組み②

「LIVZON×SPORTS」新サイトを公開

- ・当社が取り組むスポーツ支援に関する積極的な情報発信を行う

LIVZON × SPORTS

新着情報 アスリート紹介

コーポレートサイト

LIVZON × SPORTS

大成温調は、夢の実現に向けて挑戦を続けるアスリートを応援しています

アスリート紹介



黒川 寛輝ディラン
Hiraki Dylan Kurokawa
ビーチバレーボール



石橋 更紗リノ
Sarasa Lino Ishibashi
サーフィン



中田 康太郎
Kotaro Nakata
ゴルフ

社会貢献活動

『LIVZON BEACH PROJECT』の実施

- ・【第4弾】デフビーチバレー日本代表強化選手2名との所属契約を締結
- ・【第5弾】日本デフビーチバレーボール協会との協賛協賛を締結

LBP
LIVZON
BEACH
PROJECT



写真左：伊藤 碧紀選手/写真右：堀 花梨選手





Appendix

会社概要

社名	大成温調株式会社（TAISEI ONCHO CO., LTD.）
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：1904）
創業	1941年（昭和16年）4月3日 ※今年で創業84周年を迎える
設立	1952年（昭和27年）12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
本社所在地	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目49番10号
主な事業内容	空調・給排水・電気設備の設計、施工管理、メンテナンス。 産業用クリーンルームや省エネソリューションも。海外にも展開。
従業員数	連結：784名、単体：581名（2025年3月期末時点）
代表者	代表取締役 社長執行役員 水谷 憲一

コーポレートブランド「LIVZON」(リブゾン)

たてものを、いきものに
LIVZON
大成温調株式会社

コンセプト

創業80周年記念事業として、「たてものを、いきものに」をステートメントに企業ブランドとして誕生。建築物と地域社会に命を吹き込むことを表している。

LIVZONの由来

人々の暮らしや営みを表す「LIVE」と、未知を表す「Z」、そして、物事を活性化させていくという意味の「ON」を組み合わせたネーミングです。未知の領域に絶えず挑戦し、人々の暮らしを豊かにしていくというLIVZONの意思と約束を表現しています。

当社の特長 ①総合設備のプロフェッショナルグループ°

- 設備の構成要素となる各種機器・器具を、ダクト・配管や配線で最適に繋ぎ合わせ、システム全体を正常かつ省エネで機能させる、総合設備のプロフェッショナルグループ。

建築工事

建物の構造をつくる

設備工事

建物の中身・システムをつくる

空調設備・換気設備

室内の温湿度を調節したり、空気を入れ替えることで、各空間に適した室内環境に保つ役割を果たします。

空調設備・換気設備は、快適な暮らしを支えています。



給排水衛生設備

トイレや浴室など、建物の水まわりで必要十分量の水を安心して使用できる機能を提供します。

給排水衛生設備は、清潔な暮らしを支えています。



電気設備

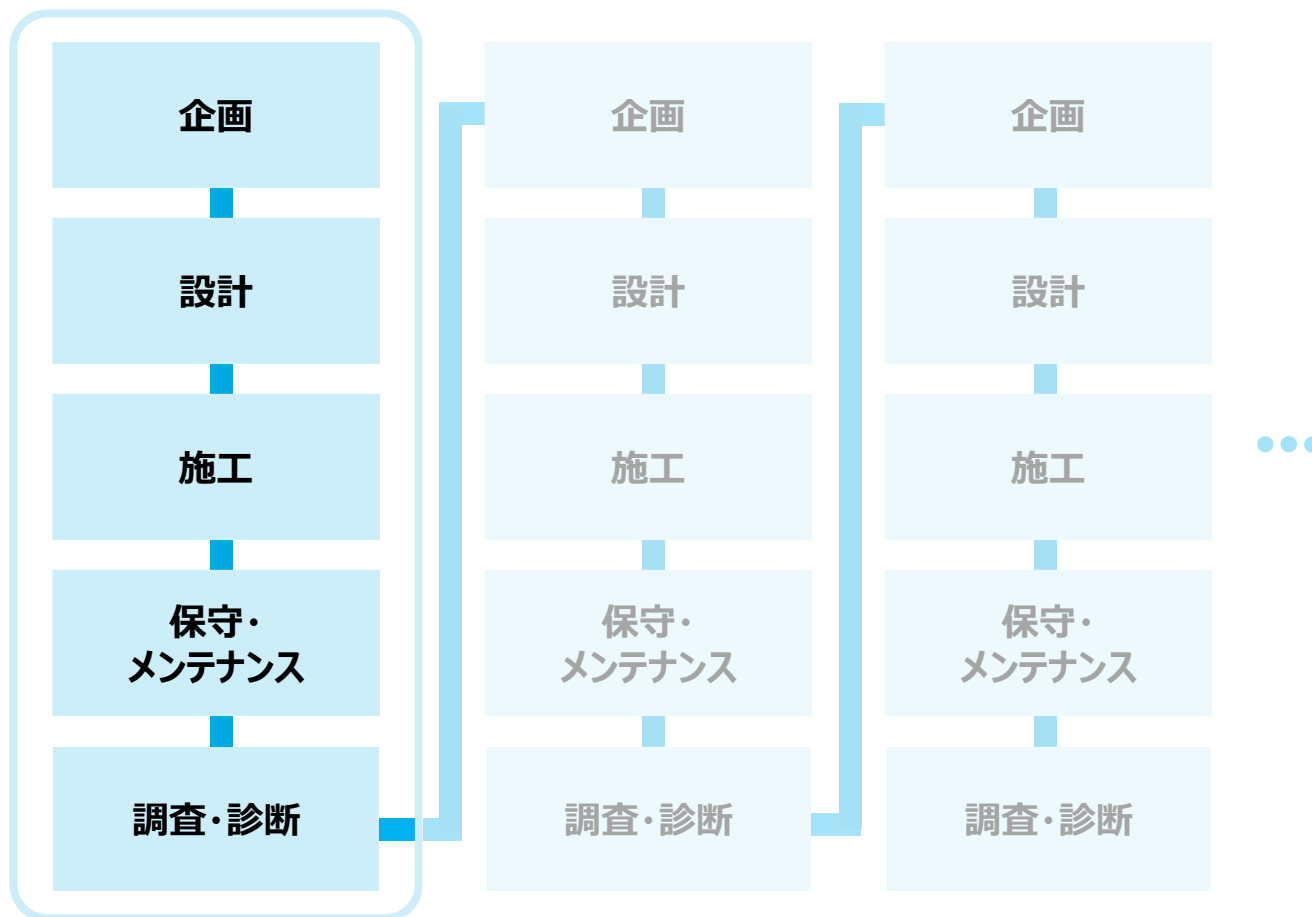
電力会社から供給される電気を建物に取り入れ、照明や電化製品をスイッチひとつで使える環境を提供します。

電気設備は、便利な暮らしを支えています。



当社の特長 ②ライフサイクルサービス

- 建物に関する提案から施工・保守サービスまで一貫して対応。建物の価値を一生涯高めていきます。



当社の特長 ③海外ネットワーク

海外における関係会社

- **ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION** 
(アラカイ メカニカル コーポレーション)
- **大成温調建築工程（上海）有限公司** 
- **TAISEI ONCHO VIETNAM HOLDINGS COMPANY LIMITED** 
(大成温調 ベトナム ホールディングス カンパニー リミテッド)
- **TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED** 
(トップ エンジニアリング ベトナム カンパニー リミテッド)
- **SEAREFICO CORPORATION** 
(シーレフィコ コーポレーション)
- **TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY. LIMITED** 
(大成温調 オーストラリア プロプライエタリー リミテッド)
- **NT AUSTRALIA PTY. LIMITED** 
(エヌティー オーストラリア プロプライエタリー リミテッド)

事業拠点 国内のネットワーク

■ 本社・支店8か所、営業所20か所、サービスステーション13か所あり、全国で施工対応が可能。

本社・支店

本 社	東京都品川区大井1-49-10 大成温調ビル
東 北 支 店	宮城県仙台市宮城野区榴岡2-4-22 仙台東口ビル8F
関 東 支 店	埼玉県さいたま市北区宮原町2-34-3
東関東支店	千葉県千葉市中央区新田町1-1 IMI未来ビル4F
横 浜 支 店	神奈川県横浜市中区太田町6-84-2 大樹生命横浜桜木町ビル4F
名古屋支店	愛知県名古屋市中区錦3-6-34 太陽生命名古屋ビル11F
大 阪 支 店	大阪府大阪市中央区谷町4-11-6 中央日土地谷町ビル6F
九 州 支 店	福岡県福岡市博多区博多駅東3-13-28 ヴィトリアビル2F

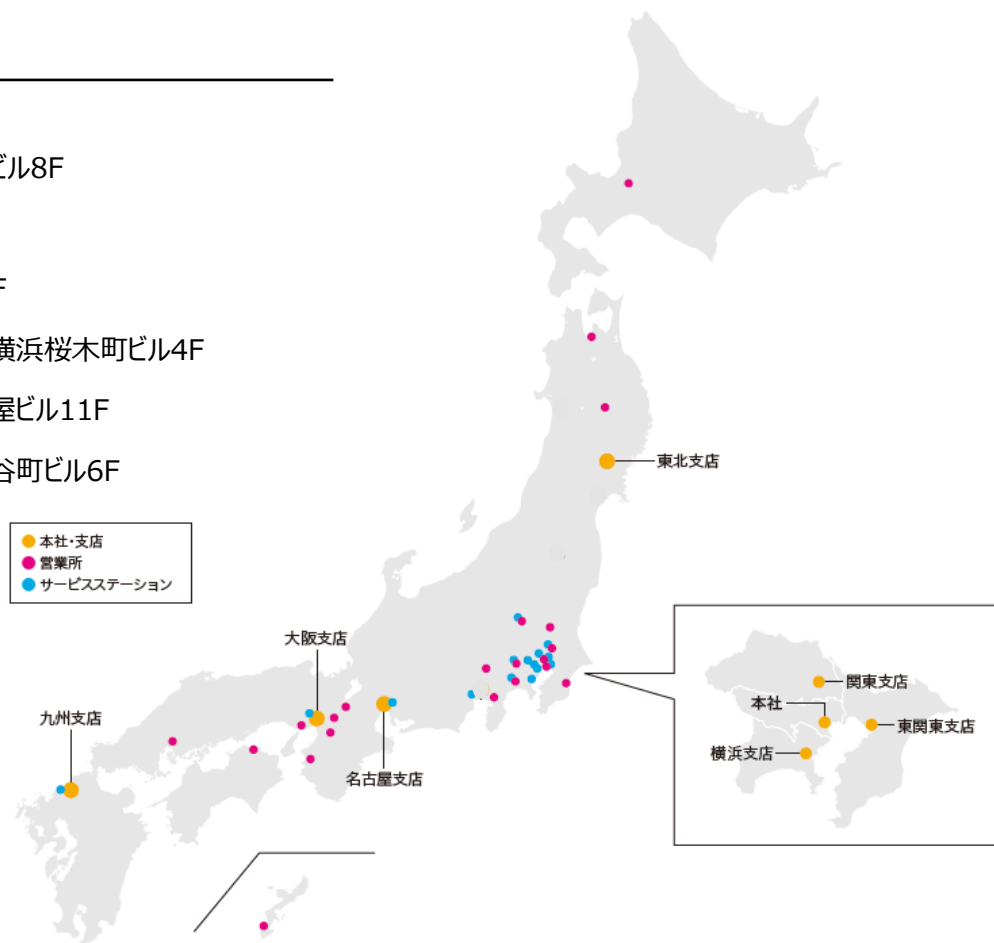
国内関係会社

ウッドテック株式会社

千葉県印西市小林3990-1

温調エコシステムズ株式会社

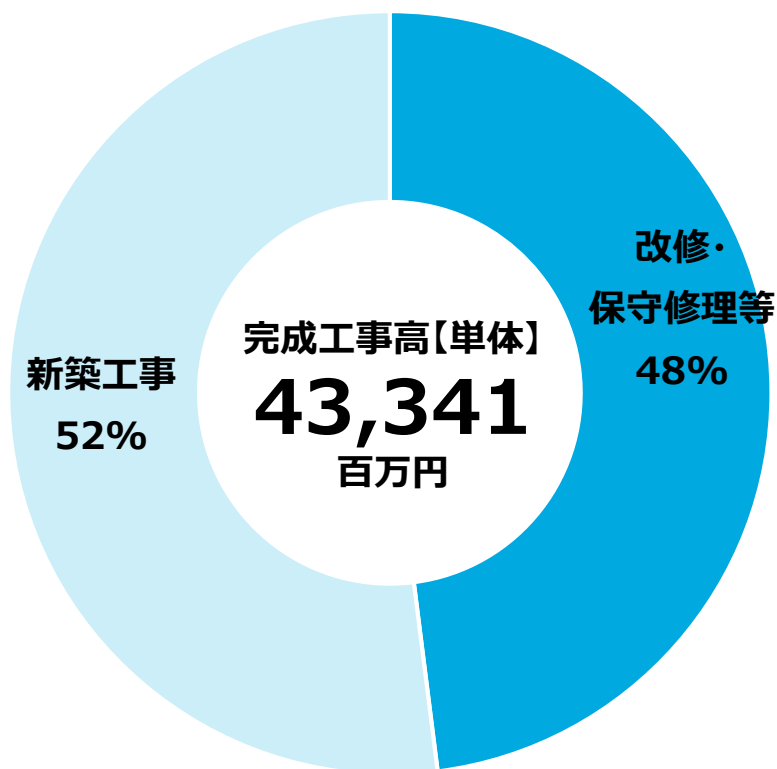
東京都品川区大井1-24-5 大井町センタービル5F



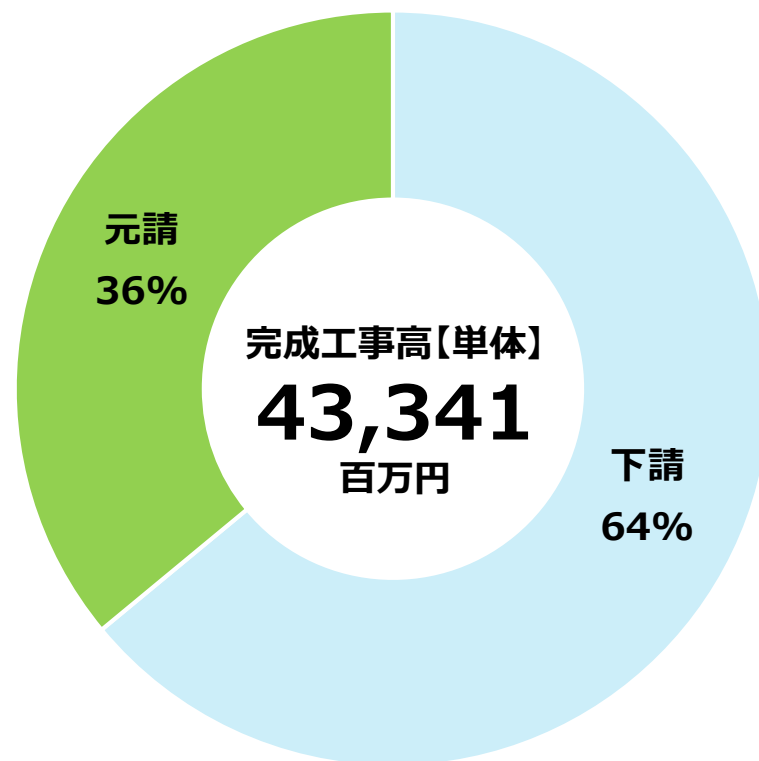
完成工事高 構成比率（新築/改修、元請/下請）

- 改修・保守修理、また元請案件の割合を増加させることで利益率改善に大きく寄与。

新築/改修



元請/下請

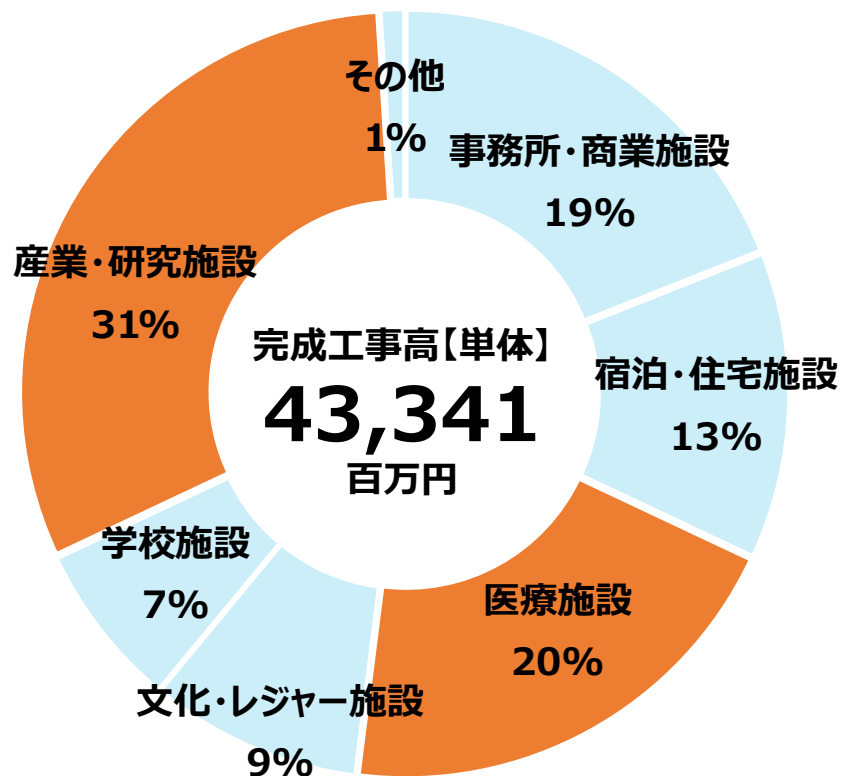


（2025年3月期実績）

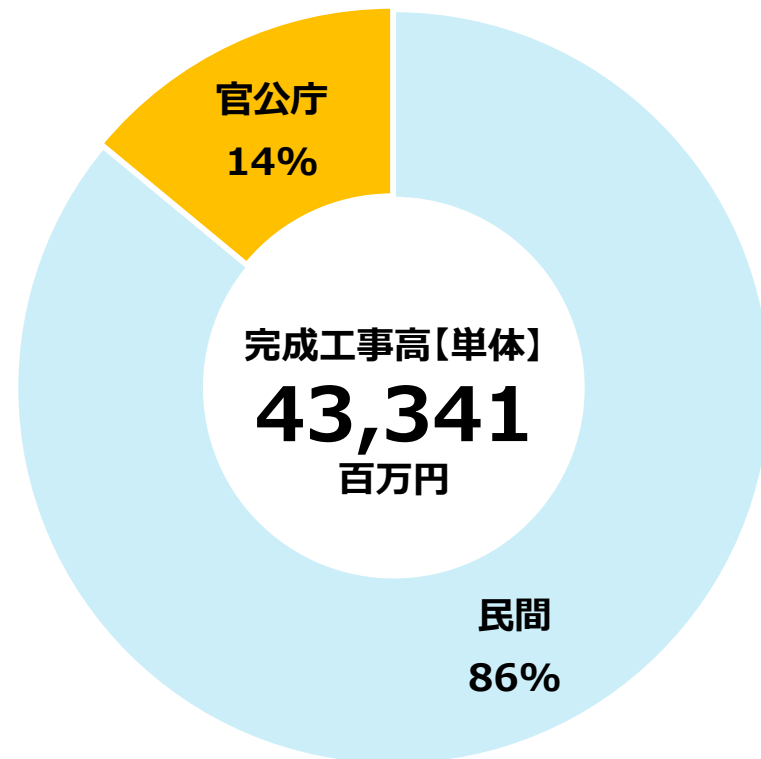
完成工事高 売上構成比率（建物用途、官公庁/民間）

- 建物用途は幅広く、特に医療施設、産業・研究施設のセグメントは相応のノウハウを持つ。

建物用途



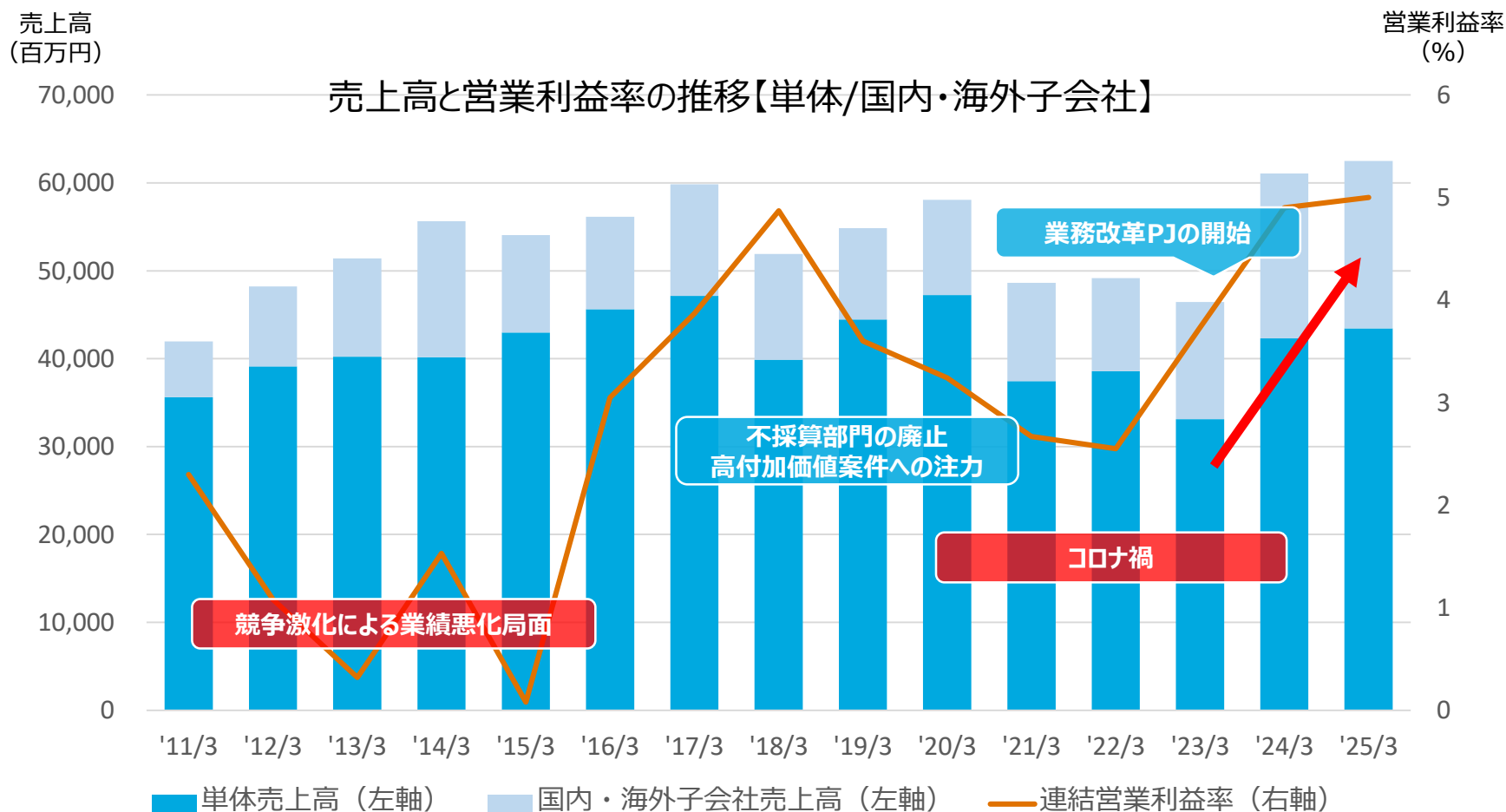
官公庁/民間



（2025年3月期実績）

業績の推移（売上高、営業利益率）

- 直近では、業務改革PJ（デジタル経営による利益率・生産性向上をテーマとする取り組み）と市況の好転がかみ合い、業績は急角度で改善中。



お問い合わせ先



【IR担当窓口】

事業企画統括部 IR広報部

E-mail: ir-info@taisei-oncho.co.jp

【ご注意事項】

本資料に記載されている当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因に加え突発的な内部要因により直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。